

# (公社)日本精神科病院協会の取り組み

## 1. 高齢者医療・介護保険委員会(常置委員会)

認知症に関する諸問題や高齢精神障害者対策等について取り組んでいる。

### ①各種研修会

- ・地域精神医療フォーラム(毎年8月実施)

認知症疾患医療センター関係者を対象に実施。

全国認知症疾患医療センター連絡協議会(第14回)を同時開催。

- ・認知症に関する研修会(毎年11月実施)

精神科医師を対象に認知症医療の最新の知見を学ぶ(第25回)。

### ②各種調査研究事業

- ・厚生労働省による老人保健健康増進等事業の受託

平成28年度「認知症の症状が進んできた段階における医療・介護のあり方に関する調査研究事業」

平成29年度「認知症の症状が進んできた段階における終末期ケアのあり方に関する調査研究事業」

- ・オレンジ手帳(認知症地域連携パス)・・・患者、家族、医療機関や介護事業所、行政機関との情報共有を行う。

## 2. 日本精神科医学会

日本精神科病院協会に設置され、学術集会の開催や精神医学、精神医療に関する情報の収集と伝達を目的とした組織。

### ●職種認定制度

#### ①認知症臨床専門医(現在349人)

精神科医師に対し、認知症疾患の正しい理解と診断・治療技術の向上を図る。

#### ②認知症認定看護師(現在251人)

精神科病院ほか関連施設に勤務する常勤看護師に対し、正しい認知症の医学的見識の普及、資質向上を図る。

### 【課題】

#### ①認知症の地域包括ケアシステムをすすめる。

オレンジ手帳、地域のかかりつけ医や介護スタッフ等への研修を行う。

認知症初期集中支援チームへの参加協力。

#### ②認知症の早期発見・鑑別診断をすすめる。

#### ③地域における認知症疾患医療センターの機能の明確化と役割を検討する。